

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	望月 徹（3）	<p>1. 新型コロナウイルスワクチン接種の検証と今後の対策について</p> <p>本市では新型コロナウイルスワクチン接種の体制について本年3月30日にウェブサイトへアップされましたが、対象となる多くの市民の皆様は4月20日付「広報ふじ」とその後の郵送で知ることとなりました。</p> <p>早い段階で対象者への情報提供として、全戸配布などがあり、5月28日提出の富士市議会としての新型コロナウイルスワクチン接種に関する提言にもあるように、民生委員や福祉推進会への協力依頼などが考えられます。その後、新聞折り込みを多用し、情報発信に努められています。</p> <p>そして、4月23日、75歳以上の約3万6000人に接種券などが送付され、今日（6月7日現在）に至るまでの経緯は皆様御承知のとおりです。</p> <p>地方自治体として国、県からの不透明な情報が錯綜する中、市民の皆様からの電話などに対応し、推進している努力と熱意に敬意を表します。</p> <p>一方で、市民の皆様は4月の情報提供範囲の少なさによる不安と不満があり、5月6日より予約できない、電話が繋がらないなどの大混乱となりました。なぜこのようになったのか、少しでも防ぐ方法がなかったのか、検証をすることで今後に向けての改善を探り、万全のワクチン接種体制の構築を期待して以下質問いたします。</p> <p>(1) 5月6日以降の大混乱について、当局は5月24日に接種方法を追加するに当たり、「接種計画に見合わない多数の方に接種券を送付した」と述べ、おわびをしています。国からのワクチン出荷見込みに不透明感などがあってのことと察します。</p> <p>5月5日の新聞折り込みには1日当たりの予約受付数が500人前後と掲載され、3万6000人に対して供給が見合わないことがはっきりしていますが、その数日前に3万6000人に発送しています。なぜ、このような判断となったのか、当局の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 国は7月末までに65歳以上の高齢者の7割の接種完了を目標とし、県も目標値を達成する見通しである旨、国へ回答しています。本市も6月3日、市長より目標値達成の見込みが立ったことを報じています。</p> <p>では、そのスケジュール及び具体的な対策についてお伺いします。</p> <p>(3) 64歳以下の接種体制の推進方法について、今までと違い働いている人が中心となります。土日及び夜間のフル活用などが求められると思いますが、当局の見解をお伺いします。</p>	市長 及び 担当部長